

令和7年度

学 力 向 上 プ ラ ン

【後期】



上尾市立平方北小学校

上尾市立平方北小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標
「確かな学力・豊かな心・健やかな身体の育成」
目指す学校像
Respect！！ 唯一無二の煌めき
児童 First 職員 First 保護者 First 地域 First

学校課題研究主題
「目を輝かせて主体的に学ぶ
児童の育成」
～非認知能力を高める指導を通して～

学力・学習状況調査の結果

R7 全国学力・学習状況調査	R7 埼玉県学力・学習状況調査	R6 上尾市立小・中学校学力調査
・国語、理科は平均正答率は全国平均値に近いものの、算数はそれを下回っている。 ・国語では「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率が低い、記述式の問題の正答率が高い。 ・算数では「測定」「変化と関数」「データの活用」の正答率が特に低い。	・学力レベルの平均について、5年は国語が3レベル、算数が2レベル伸びており、6年は国語・算数ともに1レベル伸びている。 ・4年・5年の非認知能力の伸びは、市・県の平均を上回っている。 ・4年・6年の学習方略の値は市や県の平均を上回った。5年はプランニング方略と努力調整方略の数値が埼玉県と比較して低くなった。	・国語・算数の平均正答率について、3・6年は全国平均程度で、4・5年は全国平均を下回った。 ・国語では、「文章の構成を考えて、伝えたいことを明確にして書くこと」に課題がある。 ・算数では、基礎的な計算力は身につけてきているが、「文章問題に合った立式をして答えを求めること」に課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
○基礎的・基本的学習内容を身に付ける力 ○教科の特性に合わせた技能を習得する力	○多角的な見方から思考する力 ○論理的に書いたり話したりする力	○進んで課題解決に取り組む、主体的に学ぶ力 ○目標を立て、実現に向けて努力する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
・朝の読書活動で読解力をつける。 ・「ことばのじかん」で、語彙を増やし、書くことに慣れる。 ・「かずのじかん」で練習問題に取り組み、計算力を高める。 ・ICTを活用し、児童一人一人の習熟度に応じた個別最適化した学習を行う。	・児童が主体的に課題を解決する授業展開を工夫する。 ・場に応じた表現を行うための話型を示し、基礎的な表現力を育成する。 ・各教科等で書く活動を多く取り入れ、意図が相手に伝わるように記述する力を育成する。	・児童の経験や興味・関心を活かした課題設定を行う。 ・児童一人一人の実態に合わせた目標設定と支援により、全員に達成感を味わわせる。 ・ICT機器を活用し、児童の学習意欲を高める授業を行う。

本校の特色ある取組

- あいさつ運動の推進
- 学校ICTの活用推進
- 豊かな体験活動の推進
- 読書活動の充実
- 「ことばのじかん」「かずのじかん」の活用（火・木朝）
- 「こころのじかん」での非認知能力の育成（金・朝）
- 道徳教育の充実
- 英語活動・外国語活動・外国語科の充実
- 特別支援教育の充実
- チームによる教科担任制
- 小中一貫教育の推進

家庭教育との連携

- 授業と家庭学習との連続性
- 家庭学習を通じた保護者との連携
- 学校応援団の充実による家庭・地域との連携

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的学習内容を身に付ける力 ②教科の特性に合わせた技能を習得する力	③多角的な見方から思考する力 ④論理的に書いたり話したりする力	⑤進んで課題解決に取り組み、主体的に学ぶ力 ⑥目標を立て、実現に向けて努力する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、②	①授業や家庭学習で音読を継続し、読む力の向上を図る。 ②朝学習や授業で条件に合った短文作りをし、文を構成して書く力を身につけさせる。	
算数	①、②	①オンラインドリルやプリント等を活用し、復習を繰り返し行わせる。 ②具体物や半具体物の操作など、数学的活動を十分に行わせる。	
生活	③、④	③具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を養う。 ④活動や体験したことを豊かな言葉で表現できるよう、語彙を増やす。	
音楽	②	②学習の初期に漠然と抱いた「この曲は楽しい」などの曲の印象を起点として、リズムや構成などの違いに着目して聴き深めさせる。	
図画工作	⑥	⑥並べたり、つないだり、積んだりするなどの行為や活動を通して、つくりだす喜びを十分に味わわせる。	
体育	③、⑤	③友達のよい動きを擬態・擬音語で表現させて相手に伝える。 ⑤きまりを守って意欲的に楽しく運動させる。	
英語活動	②	②ALTやHRTとジェスチャーを入れながら、あいさつをしたり、歌を歌ったり、ゲームをしたりさせる。	
特別の教科 道徳	③	③役割演技を取り入れながら、自分に置き換えて考えたり、友達の考えを聞いたりして、自分の考えをもたせる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的学習内容を身に付ける力 ②教科の特性に合わせた技能を習得する力	③多角的な見方から思考する力 ④論理的に書いたり話したりする力	⑤進んで課題解決に取り組み、主体的に学ぶ力 ⑥目標を立て、実現に向けて努力する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、④	①授業の中で、互いの考えを伝えるなどして話し合いを行い、話す・聞く力を身に付けさせる。 ④内容の中心を明確にし、段落を意識して文章を書く力を付けさせる。	
社会	②、⑥	②資料から必要な情報を読み取ったり、考えたりしたことを伝え合ったりしながら、学習問題を解決させる。 ⑥施設の見学などの体験的な学びにより、人々の生活との関連を理解させる。	
算数	①、②	①ドリルやプリントを使って学習内容を反復し、既習事項の定着を図る。 ②ICT機器を活用し、数学的活動を楽しませる。	
理科	②、④	②結果の予想を立てて観察・実験を行わせる。 ④実験や観察の結果から考察したことを自分の言葉でまとめさせる。	
音楽	②	②学習の初期に感じた「この曲は明るく生き生きとしている」などの気づきを起点として、音楽を特徴付ける要素について豊かな言葉で表現できるよう、聴き深めさせる。	
図画工作	⑥	⑥混ぜたり重ねたり、切ったり組み合わせたりするなどの行為や活動を通して、つくりだす喜びを十分に味わわせる。	
体育	④、⑤	④友達と互いに運動を見合い、動きのよさや課題を有効な言葉で伝え合わせる。 ⑤ルールを守り、場や用具の安全に留意し、運動の楽しさや喜びに触れさせる。	
外国語活動	③	③生活場面と関連させ、日本だったら・海外だったらという意識をもたせて英語活動を行わせる。	
特別の教科 道徳	③	②小グループでの話し合いや役割演技等の活動を通し、学習に主体的に関わらせ、多角的な考えに触れ、自分の考えをもたせる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①基礎的・基本的学習内容を身に付ける力 ②教科の特性に合わせた技能を習得する力	③多角的な見方から思考する力 ④論理的に書いたり話したりする力	⑤進んで課題解決に取り組み、主体的に学ぶ力 ⑥目標を立て、実現に向けて努力する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、②	①朝学習の時間等で、指定された言葉を使って短文作りをし、語彙力、書く力を高めさせる。 ②登場人物の相互関係や心情などについて、描写に着目しながら読み進め、読む力を高めさせる。	
社会	②、③	②自分の生活と結びつけながら学習を進め、課題を解決させる。 ③資料から必要な情報を読み取り、関連事項について自分の言葉で表現させる。	
算数	①、②	①継続的な計算練習により、計算技能を確実に身につけさせる。 ②ICT機器を活用し、数学的活動を楽しませる。	
理科	③、④	③経験や既習学習内容を基にし、課題や予想について友達と話し合うなど、対話的な活動をさせる。 ④実験や観察の結果から考察したことを自分の言葉でまとめさせる。	
音楽	②	②学習の初期に捉えた「この曲はリズムに特徴がある」などの気付きを起点として、音楽を特徴付ける要素について豊かな言葉で表現できるよう、聴き深めさせる。	
図画工作	⑥	⑥見方や感じ方、形や色などの造形的な特徴に着目させ、つくりだす喜びを十分に味わわせる。	
家庭	⑤	⑤生活の中から課題を見だし、その解決に向けた解決策の検討、計画、実践、評価、改善を一連の学習活動として行わせる。	
体育	⑥	⑥各種運動領域において、仲間と対話し協力しながら効果的にICT機器を活用し、自分やグループの課題を見付けたり、解決させたりする。	
外国語科	②	②外国語だけでコミュニケーションをとる場面を作って会話をさせる。	
特別の教科 道徳	③	③話し合い活動を通して、友達の意見を聞き入れながら、自分の生活を振り返って考えさせる。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○あいさつ運動の推進	・あいさつレベルを指標として、気持ちのよいあいさつを励行する。 ・児童会、保護者、地域の方々による登校時のあいさつ運動を定期的に行う。
○学校ＩＣＴの活用推進	・全ての教科・領域等においてデジタル教科書、ＩＣＴ端末、書画カメラなどのＩＣＴ機器を活用し、児童の意欲を喚起するとともに、視覚的に訴える学習を行う。
○豊かな体験活動の推進	・児童が自然に親しむ活動として、野鳥の森や学校ビオトープの活用を年間指導計画に取り入れる。 ・総合的な学習の時間に、ＳＤＧｓの視点を取り入れた課題を設定する。
○読書活動の充実	・登校後に「読書活動」を取り入れ、本に親しむ姿勢と読書の習慣を身に付けさせる。(月・金曜日) ・学校図書館支援員による年間を通した学校図書館運営により、児童の読書への意欲を高める。 ・年２回(６月「読書まつり」・１１月「読書月間」)、目標をもって読書に取り組む機会を設ける。
○「ことばのじかん」「かずのじかん」「こころのじかん」の充実	・毎週火曜日・木曜日・金曜日の登校後の時間(８：２５～８：３５)をそれぞれ「かずのじかん」、「ことばのじかん」、「こころのじかん」として活用し、算数や国語の基礎学力の向上、非認知能力を育成する。 ・短時間集中学習の習慣を身に付けさせ、学習意欲を高める。
○道徳教育の充実	・授業充実のため、工夫した発問・教材・教具の準備を進め、児童の心にひびく授業を行う。 ・年間を通して、授業研究・協議を行う。
○英語活動・外国語活動・外国語科の充実	・全学年の英語活動・外国語活動・外国語において、担任とＡＬＴとのチーム・ティーチングにより授業を進める。 ・ＨＲＴが積極的に英語で話す。 ・校内放送・掲示等で英語にふれる環境をつくる。
○特別支援教育の充実	・特別支援学級の児童との交流及び共同学習の推進を行う。 ・通常学級における特別支援教育の推進により、児童が自分の課題を知り、自分を活かせる教育を行う。
○小中一貫教育の推進	・中学校から本校への小中連携対応教諭の派遣による授業を通して、中学校への進学を円滑に行う。 ・大石南中学校区３校の教員相互の授業参観、合同研修会を行う。
家庭教育との連携	
○授業と家庭学習との連続性	・国語や算数を中心に、授業での学習内容に関連した宿題を課し、基礎学力の定着を図る。「学年×１０分」の時間を目安とする。
○家庭学習を通じた保護者との連携	・児童が自主的に行う家庭学習を推進し、家庭への協力を呼びかけ、保護者による支援や、家庭での体験的な学びにつなげる。
○学校応援団の充実による家庭・地域との連携	・家庭・地域に広く呼びかけ、学校応援団の登録を充実させるとともに、教育活動において積極的に活用していくことにより、家庭や地域の学校教育への参画意識を高め、人材を生かした教育を行う。